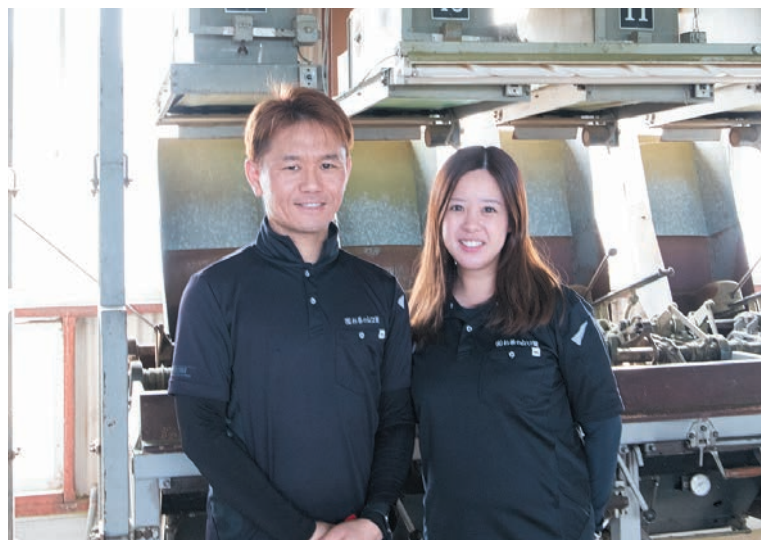




茶場の状態を確認しながら製造



奥さんと協力しながらお茶を販売しています

清ざね茶園
 住所 末吉町岩崎 3261-1
 電話 0986-76-6760



ホームページはこちら

「国内外問わずたくさんの人に清ざね茶園のことを知ってほしいです。国外のコンテストにも出場したいと考えています」と今後の目標を話してくれました。

「コンテストで賞を取ったときは努力して良かったと感じました」
 嬉しいニュースは続き、昨年鹿児島県の荒茶生産量が初めて日本一に。
 「ニュースを知ったときはとても嬉しかったですが、県内のお茶消費量は全国11位です。この機会に地元や県内へのPRを頑張りたいです」
 PR活動として山口さんが所属している末吉町茶業青年の会では、市内小学校の高学年を対象に『おいしいお茶入れ教室』を実施。お茶の入れ方や効能などを教えています。

「県内外のイベントに参加したりSNSを活用するようになってから、お客さまの声を、直接聞く機会が増えました。飲食店で働いていた時の繋がりで、お茶を使ってもらっている店もあります」
 清ざね茶園では10種類以上の品種を厳選して、茶葉をブレンドします。
 「茶葉の品種によって製造工程が違うので技術が必要です。多くの品種を扱うのは大変ですが様々な味・香りを楽しむことができます」
 その他にも新芽を霜から守る為に1時間に1回気温を確認し、冷え込む日は夜中でもスプリンクラーの点検で畑を見回り

第98回 実は隣のスゴイ人

清ざね茶園 園主

やまぐち ^{ともき}
山口 智紀さん

曾於市内のスゴイ人にスゴイ人を紹介してもらうこのコーナー。前回のスゴイ人、吉田眞里子さんにご紹介いただいたこの方は「**新しいお茶の味を生み出すスゴイ人**」とのこと。



今回は、末吉町岩崎の清ざね茶園で
 お茶の生産から販売までされている山口智紀さんに話を伺いました。清ざね茶園で販売するお茶は、山口さんのご両親が経営されている(有)お茶の山口園のもので、山口さんも一緒に栽培を行っています。

山口さんは元々実家の製茶業を継ごうと考えていなかったそう。気持ちが変わったのは関東の大学を卒業して飲食店で働いているときでした。

「お茶の六次産業化（栽培から加工・販売まで行うこと）に魅力を感じ、後継者として就農しました」

その後、小売専門の屋号として『清ざね茶園』を立ち上げ販売やPRに力を入れるようになりました。

「県内外のイベントに参加したりSNSを活用するようになってから、お客さまの声を、直接聞く機会が増えました。飲食店で働いていた時の繋がりで、お茶を使ってもらっている店もあります」

清ざね茶園では10種類以上の品種を厳選して、茶葉をブレンドします。

「茶葉の品種によって製造工程が違うので技術が必要です。多くの品種を扱うのは大変ですが様々な味・香りを楽しむことができます」

その他にも新芽を霜から守る為に1時間に1回気温を確認し、冷え込む日は夜中でもスプリンクラーの点検で畑を見回り